

“Activism for Life” 内容紹介

1章 カメルーンから持続可能な暮らし方、そしてグリーンナムへ

2章 グリーンナムを自宅へ、そしてスノーボール運動

女性だけで米軍基地への侵入を繰り返し、ついには閉鎖に追い込んだ「グリーンナムコモン」運動に始まり、それをそれぞれの地元での反基地運動に拡大した1984年からの「スノーボール」運動を描く。これはソ連に対抗してアメリカがヨーロッパに中距離核（INF）を配備しようとしたのに対する抗議で、全ヨーロッパで同様の運動が盛り上がり、ついにはこれを全廃する条約が米ソの間で締結。平和運動の成功例。

3章 英国から海外へ、抵抗のネットワークを広げる

先住民の権利の問題に取り組む。1991年、マレーシアのサラワクで森林乱伐防止活動を国際チームで実施。伐採木材を積んだバージを占拠し、逮捕、2週間の拘留。

本国に戻り、この「違法に伐採され輸入された」木材を使った商品に対する「倫理的万引き」、つまり商店から品物を取って警察にどどける活動を開始。「市民による先住民の盗品回収組織-CRISPO」と称する。



最初のスノーボール運動のフェンス切断、1984年



「倫理的万引き」の品物を警察にどどける

4章 アクションの支援と準備

インドネシアに輸出直前のジェット戦闘爆撃機は、東チモール住民の虐殺に使われることが明白だった。これを止める合法手段が尽きた後、1996年1月29日、格納庫に侵入して家庭用のハンマーで「非武器化」を敢行した。陪審員裁判で無罪が確定。

5章 誰でも使える国際法を目指す／6章 法律に則った異議申し立て

英国の核ミサイル原潜「トライデント」に対する非武器化行動と基地撤去キャンペーンなど。国際司法裁判所の「核兵器は一般的に違法」とする1996年の「勧告的意見」に啓発され、良心や道徳だけでなく国際法をベースにした運動を発案。1999年6月、アンジーを含む3人の女性がゴイル湖の原潜試験施設「メイタイム」の内部の機器を破壊した。これまた無罪判決。判決の翌年の2001年には「もう一つのノーベル賞」と言われるライト・ライブリフッド賞を受賞する。（この賞の日本の受賞者・団体は故・高木仁三郎氏と生活クラブ生協連合会。）



「非武器化」した原潜試験施設に飾られた横断幕
1999年6月8日

7章 国際連帯／8章 世界中で抵抗は続く

ヨルダン川西岸でのパレスチナ人の同伴活動などを行う「国際女性平和奉仕活動」のこと、そして私たちに身近な韓国・チェジュ島での軍港建設反対の行動のことが書かれている。

9章 終わりのなき闘争

スコットランドは核兵器反対の世論が多数であるのに対し、それが弱いイングランドでの反核運動に取り組む。ロンドンの西50キロにあるオルダーマストン核兵器工場に対する直接行動、トライデントに対する公益訴訟のことなど。ウェールズでは「ウール・アゲインスト・ウェポン」（武器に対抗する毛糸）と称する、祝祭的なイベントも取り組まれた。



ウェールズ・ナイトンでの「ウール・アゲインスト・ウェポン」（武器に対抗する毛糸）アクション

10章 警察、刑務所、温泉

アンジーは、英国だけでなく外国でも留置場や監獄の経験をした。その実態と、改善要求、そしてその成果が書かれている。

11章 みんなの地球、みんなの闘争

気候危機に対する取り組み。80年代からの森林保護やCO2削減の取り組みから、最新の「絶滅への叛逆と平和」（Extinction Rebellion Peace）の取り組みまで。

付録

1 : 非暴力

a : 非暴力運動 / b : ガンジーの「7つの大罪」 / c : キャンペーンの技術を共有する / d : トライデント・プラウシェアズの運営委員会から警察への連絡用の手紙例

2 : 核兵器と国際人権法

a : ベジヤウィ裁判官の声明 / b : 2001年ライト・ライブリフッド賞、アンジー・ゼルターの受賞スピーチ

3 : 武器貿易 DSEI 2017年封鎖行動に関する公判でのアンジー・ゼルターの証言

4 : 軍国主義

a : ガンジョン村からの報告・第8 (2012年3月) / 4 b : 「済州島ガンジョン村に於ける米国の戦争計画に反対する非暴力抵抗」 アンジー・ゼルターによる記事 (2012年4月)

5 : パレスチナ

a : アンジー・ゼルターのヨルダン川西岸からの時折だより「田舎の春」第一便 (2004年3月) /
b : アンジー・ゼルター講演「IWPSパレスチナから学んだこと」 於ロンドン (2008年)

6 : 森林

ボルネオ・ポスト掲載記事「環境保護論者によるマレーシアへの世界大戦宣告」への返答、アンジー・ゼルター、於サラワクのミリ刑務所、1991年8月15日付

7 : 気候変動

絶滅への叛逆公判 証人席からの声明、於ヘンドン治安判事裁判所 (2019年6月)

8 : 女性

女性、平和、安全、国際連帯、世界正義祭でのアンジー・ゼルターの手短な発表、於FMHエジンバラ (2017年10月)

核廃絶から森林保護、そして気候危機まで幅広い課題にわたって、また地理的には、本国イギリスでは（最初の）地元ノーフォークからスコットランドへ、さらに国境を超えてマレーシア、韓国・チェジュ島に至るまで、ローカルからグローバルまで幅広い活動範囲での行動。

（本文3章から）

「効果的な運動とは一般市民の啓発、ロビー活動、交渉と並行して行う「継続的」な非暴力直接行動であり、要請や要求を履行することになる相手の人々や組織にそれを明確に伝達することである。」

（ケイト・デュースの序文から）

「彼女の無尽蔵とも思えるエネルギーと熱意は、並はずれた謙虚さとよくバランスを保っています。」